

京都国立近代美術館・京都造形芸術大学が  
共同で「京都総文プロジェクト」を実施

第30回全国高等学校総合文化祭(京都総文)美術・工芸部門  
ASKプロジェクト「鑑賞が鍛える表現力」

京都国立近代美術館(京都市左京区、館長:岩城見一)、京都造形芸術大学(京都市左京区、学長:芳賀徹)は、第30回全国高等学校総合文化祭(京都総文)京都府実行委員会より依頼を受け、8月2日(水)から京都府内で開催される京都総文 美術・工芸部門の交流会を、鑑賞プログラムを中心とした共同プロジェクトとして企画実施します。

タイトルの「ASK」は、鑑賞プログラムにおいて重要な「問いかけ」を意味する「ask」と、昨年京都造形芸術大学で行われた「世界アーティストサミット Artists Summit, Kyoto」(公式サイト<http://artists-summit.jp/>)の頭文字から名づけられました。

この共同プロジェクトは下記の2つのプログラムから構成されます。

1. 事前研修

今回のプロジェクトを実施するスタッフとなる、京都造形芸術大学に学ぶ学生および京都総文を支える京都市内の高校生スタッフをガイドスタッフとして研修します。アート作品の鑑賞体験をきっかけにさまざまな人とコミュニケーションをとる方法を、レクチャー、ワークショップ、フィールドワークを併用し、学ぶカリキュラムとなっています。

日時:4月29日(土)~8月2日(水)の間で全13回

内容・カリキュラム:裏面を参照してください

研修場所:京都造形芸術大学、京都国立近代美術館、岡崎公園内

2. 京都総文交流会

研修を受けた京都造形芸術大学学生および京都市内高校生がガイド役となり、全国から集まった参加高校生約300人とともに、京都国立近代美術館常設展示および京都総文へ出品された作品約300点を使用した鑑賞ワークショップを行います。会話をしながらアート作品を鑑賞することをきっかけに、多くの人々とのコミュニケーションを行い、また作品制作においてさらに幅広い表現を行う力を身につける機会を提供します。

日時:2006年8月3日(木)10:00~13:00

場所:京都国立近代美術館常設展示室、みやこめっせ式典交流会場

参加者:京都総文に作品を出品した全国の高高校生 約300名

共催:京都国立近代美術館、京都造形芸術大学

プログラム企画:水野哲雄(京都造形芸術大学芸術基礎教育センター教授)、杉浦幸子(京都造形芸術大学芸術基礎教育センター コーディネーター)、河本信治(京都国立近代美術館学芸課長)、鎌田智子(京都国立近代美術館 学芸課)、高間準(京都府立山城高等学校教諭、京都総文美術・工芸部門長)

※第30回全国高等学校総合文化祭(京都総文)については、公式サイトをご参照下さい。

<http://www.kyotosobun.jp/>

※プロジェクトの概要および進捗状況については、京都国立近代美術館公式サイト内学習支援活動を併せてご参照ください。<http://www.momak.go.jp/Japanese/education/2006/askProject.html>

— この件に関するお問い合わせ —

京都造形芸術大学 芸術基礎教育センター

杉浦 幸子 Tel: 075-791-9192